

私はこの修学旅行を通して色々なことを学びました。例えば集団行動で時間を厳守することの大切さ。1分でも遅れたら先生達や皆に迷惑をかけ、次の行程にも響いてくるなど、普段の生活ではあまり気づかないことも意識することが出来ました。

また、日本との文化の違いに驚くことが沢山ありました。トイレのドアが日本ではきちんと上から下までであるのに対し、アメリカでは上下で空間があり真ん中のみが隠されている構造でした。また便座にはウォシュレットなどの装置も無く、日本のトイレの技術力の発展に改めて誇りさえ感じました。そして何より一番違いを感じたのは「食」でした。量や味付けなど、日本とは全くといっていい程違いました。私は度々旅行の途中で、白米やお味噌汁など日本食特有の優しい味が恋しくなりました。しかしそれをきっかけに、改めて日本食の素晴らしさを感じる事が出来ました。

「食」の次に大変だったのが言葉の違いでした。お土産や何か物を購入するときに、ふとわいた疑問を店員さんに尋ねたいが、英語での表現がわからず、諦めたり、疑問が解決しないまま購入したりしました。その時に「もっと英語を勉強しておけば」と強く後悔しました。しかしこの1週間という期間で、英語を使う楽しさや相手の言いたいことが理解できた時の嬉しさなど、様々なことを感じる事が出来ました。だから私は今、英語の勉強をしっかりと頑張り、大学生や大人になったら色々な国を訪れ文化の違いを楽しめるようになりたいと思っています。最後に、一番楽しかった思い出は、同じ班の人達と過ごした時間です。私は一人だけクラスが違ったにも関わらず、周りの人が快く受け入れてくれたので、とても良い修学旅行を経験することが出来ました。旅行中毎日笑顔でずっと笑っていたので、日本に帰国して一人になると、とても寂しく感じました。本当に充実した日々でした。恐らく人生最後の修学旅行をととても楽しく終わることができて、心の底から良かったと感じています。

